

はグラスジンMが使用された。

む す び

以上、東北における昭和55、56年の冷害と同冷害年におけるところの雑草防除に関係すると考えられた事項についてのべた。

56年のように、移植前後から長期間にわたる低温が続く場合、除草剤利用が極めてむずかしくなるが、幸い日植調で不良環境条件下における除草剤安全使用法の一つとして、異常低温条件下における温度別適除草剤をまとめられたの

で、これらを参考とし、地域の環境条件に適した除草剤を選択使用するとよい。しかし、これらの除草剤をただ散布すれば除草は終わりといった安易な考えは禁物であり、気象変動に対応した、良質推廐肥施用、健苗育成による生育の安定化などの耕種技術の上に立って、除草剤を適期に適量を均一に散布し、水管理の適正化を図るのであれば、56年に経験したような気象条件下でも十分に、除草剤による雑草防除ができると考える。

昭和57年度水稻作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和57年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、昭和57年12月9～10の2日間、植調会館（東京都台東区台東1の26の6）において開催された。ここに、その結果の概要を報告する。

1.) 第1次適用性試験（適1）成績の検討.

昭和57年度の適1試験は、全7地域で32薬剤（のべ132点）について実施した。その判定結果は、第1表の通りである。なお、試験場所は次のようである。北海道地域…植調岩見沢試験地、東北地域…植調古川試験地、北陸地域…新潟県農業試験場、関東東山・東海地域…植調研究所、近畿地域…植調滋賀試験地、中国・四国地域…徳島県農業試験場、九州地域…植調佐賀試験地。

2.) 第2次適用性試験（適2）成績の検討.

昭和57年度の適2試験は次のような内訳で実施した。すなわち、稚苗移植栽培の移植前の土壌混和处理（のべ66点）移植前後土壌処理（146点）、移植後土壌処理（165点）、移植後茎葉兼土壌処理（48点）、適用時期拡大（172点）、特殊雑草防除（52点）体系是正用（155点）、湛水直播栽培用（13点）、畦畔（16点）、耕起前（5点）、休耕田用（2点）の総のべ点数は840点であった。これら試験の判定結果は第2表、実用化可能と判定された除草剤の使用基準は第3表のとおりである。

第 1 表 昭和 57 年度 水稻作関係除草剤適 1 試験成績判定結果一覧表

No.	薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率		試験実施地域	判 定 結 果 概 要	
1.	CGR-88	乳	CG-113 オキサジアン	8 % 8 %	東北、関東。 (2)	寒冷地～温暖 地東部：○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ミ ズガヤツリ。（土壌混和）
2.	DPX-32	粒	未 公 開	0.25 %	北海道，北陸， 関東，近畿，四 国，九州。（6）	△	
3.	DPX-84	粒	未 公 開	0.25 %	北海道，東北， 北陸，関東，近 畿，四国，九州。 (7)	温暖地以北： □ (暖地：△)	
4.	FS-356	粒	NTN-801 ピラゾレート	3.5 % 6.0 %	北海道，東北， 北陸，関東，近 畿，四国，九州。 (7)	全域：○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウ リカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモ ダカ。（ノビエ 1.5～2 L）
5.	ID-812	粒	未 公 開		東北，関東，四 国，九州。（4）	寒冷地以西： □	カヤツリグサ科用母剤として。
6.	IDM-1	粒	未 公 開 (2 種混合)		北海道，東北， 北陸，関東，四 国，九州。（6）	△	
7.	KH-218	粒	未 公 開		北海道，東北， 関東，近畿。（4）	△	〔薬量の検討〕
8.	KNW-242	粒	未 公 開	5 %	関東，九州。 (2)	△	
9.	KNW-243	粒	KNW-242 未 公 開	5.0 % 1.5 %	北海道，東北， 北陸，関東，九 州。（5）	寒冷地～温暖 地東部：○ 他：△	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウ リカワ・ヘラオモダカ。（ノビエ 1.5 L まで）
10.	KNW-244	粒	KNW-242 未 公 開	5.0 % 6.0 %	北海道，東北， 北陸，関東，九 州。（5）	寒冷地～温暖 地東部：○ 他：□	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウ リカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモ ダカ。（ノビエ 1.5 L まで）
11.	KRH-107	粒	未 公 開	7 %	関東，近畿，四 国。（3）	△	
12.	KHR-110	粒	未 公 開	10 %	関東，近畿，四 国。（3）	温暖地：○	一年生・マツバイ・（発生前）
13.	MKS-HF	粒	未 公 開 (2 種混合)	5.1 %	関東，九州。 (2)	△	
14.	MT-225	粒	MT-124 SK-23	2.0 % 5.0 %	北海道，東北， 北陸。（3）	温暖地以西： □	

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率	試験実施地域	判 定 結 果 概 要	
15.	MY-71	粒	未 公 開 8.0%	関東，四国，九州。(3)	温暖地以西： ○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。(ノビエ1L未満)
16.	MY-93E	粒	MY-93 7% MY-71 6% (未公開)	関東，近畿，四国。(4)	温暖地：△ 暖地：○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ。(ノビエ2L未満)
17.	MY-93F	粒	MY-93 10% MY-15 3% (未公開)	北海道，東北， 関東，近畿，四国，九州。(6)	全域：□	
18.	NC-304	粒	未 公 開 (2種混合)	北海道，東北， 北陸，関東，近畿，九州。(6)	温暖地～暖地： ◎ 他：○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。(ノビエ1L未満)
19.	NK-757	乳	未 公 開 9%	北海道，東北， 関東，近畿，九州。(5)	寒冷地以西： ○ 寒地：△	一年生・マツバイ，多年生にも抑制効果あり。(土壌混和)
20.	NK-757	粒	未 公 開 1.5%	北海道，東北， 関東，近畿，九州。(5)	寒冷地～温暖地： ○ 寒地：□ 暖地：△	一年生・マツバイ，多年生にも抑制効果あり。(植代後)
21.	NK-758	乳	未 公 開 9%	北海道，東北， 関東，近畿，九州。(5)	寒冷地～温暖地： ○ その他：□	一年生・マツバイ，多年生雑草にも抑制効果あり。(土壌混和)
22.	S-475	粒	未 公 開 (2種混合)	東北，関東，九州。(3)	△	
23.	SKH-813	粒	未 公 開 2%	北海道，東北，九州。(3)	×	
24.	SL-495	粒	未 公 開 (2種混合)	北海道，東北， 関東，近畿，九州。(5)	寒地：○ 寒冷地以西： ◎	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。(ノビエ1.5Lまで)
25.	SR-815	粒	未 公 開 (2種混合)	東北，関東，近畿，九州。(4)	寒冷地～温暖地： ○ 暖地：△	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。(ノビエ1.5Lまで)
26.	YH-442	粒	未 公 開 15% (3種混合)	北海道，東北， 北陸，関東，四国。(5)	寒地～温暖地： ○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ。
27.	NTN-571	粒	未 公 開 5% (2種混合)	北海道，東北， 北陸，関東，近畿，九州。(6)	全域：◎	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ・クログワイ。(ノビエ2.5Lごろまで)

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率	試験実施地域	判 定 結 果 概 要	
28.	NTN-572	粒	未 公 開	関東、九州。 (2)	□	混合母剤として。
29.	SAN-306	粒	未 公 開 5%	関東、九州。 (2)	△	
30.	SAN-307	粒	未 公 開 5%	関東、九州。 (2)	△	
31.	UO-2	粒	未 公 開 9.5% (2種混合)	東北、関東、四 国。 (3)	温暖地：○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウ リカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモ ダカ。(ノビエ1.5L ごろまで)
32.	UO-4	粒	未 公 開 7.5% (2種混合)	東北、関東、四 国、九州。 (4)	温暖地以西： ○	一年生・マツバイ・ホタルイ・ウ リカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモ ダカ。(ノビエ1.5L ごろまで)

注) 判定欄の記号については、◎：極めて有望、○：有望、□：可能性あり、△：再検討、×：見込なし、を示す。

第2表 昭和57年度 水稻作関係除草剤適2試験判定結果一覧表

判 定 区 分	実	実 お よ び 継	継	継?	中止
II-1 土壤混和处理	G-315・ B乳	CH-81乳.	CGS-88乳, HW-863乳, NK- 757乳, NK-758乳, YH-431乳.		
II-2 移植前後土壤処 理		ブタクロール粒, CG-113粒, CG・SW◎粒, CH-81粒, G -315・SK粒, MC-79粒, NH-93A粒, MS-256粒, MSW-2粒, MT-124粒, MT-225粒, SL-49粒, YH -411粒, YH-411◎粒, YH -3粒.	HW-864粒.		
II-3 移植後土壤処理	BM-◎ 粒	CG-113粒, FS-356粒, MM-3粒, MT-224粒, MTB-◎粒, MT-CG◎粒, NTN-801粒, S-471粒, X -567粒.	DPX-84A粒, NTN-803粒, S-473粒, SL-495粒.		
II-4 茎葉兼土壤処理		HW-52・SM粒, NTN-805 粒, NTN-806粒, YH- 5粒 ..	NY-433粒.		
II-5 適用時期拡大	BS-◎ 粒, BSM -◎粒, BAS- 3510水和,	BAS-3510◎粒, HOK-05 M粒, HOK-05P粒, HW-52 SM粒, KUH-812粒, MTB- ◎粒, NTN-806粒, シメトリ ンMCPB粒, SL-49粒, TH	NY-433粒.		

判定 区分	実	実 お よ び 継	継	継?	中止
Ⅱ-5 適用時期拡大 (つづき)	SB-77 粒.	-80粒, YH-5粒, KH-199 粒, KH-44粒, SW-751粒.			
Ⅱ-6-(1) クログワイ 対象		BAS-3510粒, MTS-1粒, <u>S-471粒</u> , YH-3粒, <u>X-567</u> <u>粒</u> .			
Ⅱ-6-(2) オモダカ対 象		S-28SM粒.			
Ⅱ-6-(3) ヒルムシロ 対象		SL-49粒.			
Ⅱ-6-(4) セリ対象		BAS-3510水和.			
Ⅱ-6-(5) シズイ対象	BAS- 3510水和	B-3015・S・BAS粒, MCP・ BAS粒, TH-63粒, SMX粒.	HOK-05A粒.		
Ⅱ-6-(6) エゾノサヤ ヌカグサ対 象			HOK-05A粒.		
Ⅱ-6-(7) クサネム対 象			HOK-05A粒.		
Ⅱ-6-(8) ウリカワ対 象			シメトリンMCPB粒.		
Ⅲ-1 湛水直播		<u>HW-52粒</u> , SL-49粒.	HW-52 ㊟粒.		
Ⅳ 畦畔雑草		MW-801液, <u>NHS-60水溶</u> .	HOE-866液, NC-412HW 水和.		
V 耕起前		MW-801液.			
Ⅵ 休耕田		グリホサート液.			
Ⅶ 体系は正試験		CG-SW粒, <u>CG-SW ㊟粒</u> , <u>MM-3粒</u> , MS-358粒, <u>MS-</u> <u>356粒</u> , <u>MS-256粒</u> , MT-CG 粒, <u>NTN-804粒</u> , SB-77粒, SL-493粒, SL-494粒, TH-63粒.	SR-811粒.		

注：1) 本年度は「継?」「中止」と判定された薬剤はなかった。

2) 本年度新規に使用基準の作成されたものは薬剤名にアンダーラインを入れた。

3) 2つ以上の区分にまたがるものについては、主要区分に統一整理した。

第3表 昭和57年度 水稻作関係除草剤適2使用基準一覧表

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 1 1 稚 苗 ・ 土 壌 混 和 処 理	2) CH-81 乳	土 壌 混 和 処 理	寒冷地以西 の普通期、 温暖地東部 の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ。 〔但し、ホタルイ は温暖地東部の み。〕	整地板使用の直前 直後。	ml/a 50～65	壤土～ 埴土 (2cm/ 日以下。	1) 混和時の水深 3～5cm。 2) 移植後の深水 をさける。
	3) G-315 ・B乳	土 壌 混 和 処 理	寒地、寒冷 地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ミ ズガヤツリ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒冷地の み。〕	植代直前直後 (-3～-1)。	ml/a 50～75	砂壤土～ 埴土 (2cm/ 日以下)。	1) 混和時の水深 3～5cm。 2) 混和深2～3 cm。 3) 吸着の悪い土 壌(砂壤土・腐 植含量の少ない 土壌)では水の 動きの少ない場 合に葉害の危険 性があるので十 分注意する。
			温暖地以西 の早期・普 通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ミ ズガヤツリ。 〔但し、ヘラオモ ダカは温暖地東 部のみ、ミズガ ヤツリは暖地普 通期を除く。〕		50～65		
II 1 2 移 植 前 後 土 壌 処 理	1) ブタクロ ール粒	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ。	-8～+10(ノビ エ1.5Lまで)。 ホタルイ；発生前 ～2L。 ヘラオモダカ；発 生前～始。	ml/a 200～ 300	壤土～ 埴土 (2cm/ 日以下)。	1) 極端な浅植え はさける。 2) 低温時には使 用しない。 3) 200g/a散布 は多口ホース散 布とする。
			寒冷地、温 暖地の普通 期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ミ ズガヤツリ。 〔但し、ヘラオモ ダカは寒冷地の 田植前のみ。〕	-6～-3、+3 ～+10(ノビエ 1.5Lまで)。 ホタルイ；発生前 ～2L。 ヘラオモダカ；発 生前～始。 ミズガヤツリ；発 生前～3L。	田植前 200～ 300 田植後 300		
			温暖地東部 の早期。		+3～+8(ノビ エ1.5Lまで)。 ホタルイ・ミズガ ヤツリ；発生前 ～2L。	300		
			暖地の早期・ 普通期。	一年生雑草・マツ バイ。	-6～-3(早期 のみ)。	200～ 300		

区分	薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 1 2 移植前後 土壌処理 (つづき)	1) ブタクロール粒 (つづき)		暖地の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ.	+3~+10(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ; 発生前~2L. ミズガヤツリ; 発生前~3L.	300		
	2) CG-113 粒 〔II-3-2と共通〕	土 壌 処 理	寒地, 寒冷地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ. 〔但し, ミズガヤツリは寒冷地のみ.〕	-5~+10(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ; 発生始まで.	g/a 300	壤土~ 埴土 (2cm/日以下). 〔但し, 寒冷地は砂壤土(2cm/日以下)を含む. 温暖地西部の普通期と暖地早期は砂壤土(1cm/日以下)を含む.〕	
			温暖地の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ. 〔但し, ヘラオモダカは温暖地東部のみ.〕	-3~+10(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ; 発生始まで.			
			暖地の早期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ.	+0~ノビエ1Lまで. ホタルイ・ミズガヤツリ; 発生始まで.			
			暖地の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ.	-3~+7(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ; 発生始まで.			
	3) CG・SW ①粒	土 壌 処 理	寒地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ.	-3, +0~+14(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ・ヘラオモダカ; 2Lまで. ウリカワ; 発生前~始. ヒルムシロ; 発生期.	g/a 300 ~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/日以下).	1) ピラゾレートに準ずる. 2) 泥炭質土壌では, ウリカワに対する効果が低下することがある.
			寒冷地, 温暖地東部の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ. 〔但し, ヘラオモダカは寒冷地のみ.〕	-3, +0~+10(ノビエ1.5Lまで). 〔但し, 温暖地東部の早期は-3, +3~+10(ノビエ1.5Lまで).〕			

区分	薬 剂 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 1 2 移植前後土壌処理（つづき）	3) CG・SW ①粒 (つづき)	土 壌 処 理		〔み, ヒルムシロ〕 〔は普通期のみ。〕	ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ; 発生始まで。ウリカワ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生效期。			
			温暖地西部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ <u>ヒルムシロ</u> 。 〔但し, ミズガヤツリ・ヒルムシロは普通期のみ。〕	－3, +0～+7 (ノビエ1.5Lまで)。 〔但し, 早期は, 〕 －3, +3～+7 (ノビエ1.5Lまで)。 ホタルイ・ミズガヤツリ; 発生始まで。ウリカワ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生效期。			
			暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ <u>ヒルムシロ</u> 。	－3～+7 (ノビエ1.5Lまで)。 ホタルイ; 発生效前。ウリカワ; 2Lまで。 ヒルムシロ; 発生效期。			
			暖地の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。	+3～+10 (ノビエ1.5Lまで)。 ホタルイ; 発生效前。ウリカワ; 2Lまで。 ミズガヤツリ; 発生始まで。			
	4) CH-81 粒	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ。	－3～+10 (ノビエ1.5Lまで)。 ホタルイ・ヘラオモダカ; 発生始まで。	g/a 300～ 400	砂壤土～ 埴土 (2cm/日以下)。	1) 深水処理はさける。 2) <u>コナギ・ホタルイ・ミズガヤツリは早目に処理する。</u>
			寒冷地。	一年生雑草・マツバイ。			埴土～ 埴土 (2cm/日以下)。	
			温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ <u>ミズガヤツリ</u> 。	－3～+7 (ノビエ1.5Lまで)。 ホタルイ・ミズガヤツリ; 発生始まで。		〔但し, 〕 暖地は 埴壤土～ 埴土 (2cm/日以下)。	
			温暖地西部以西の普通期。	一年生雑草・マツバイ。				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理期時	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 2 移植前後 土壌処理 (つづき)	5) G-315・SK粒	土壌処理	全域の普通期, 温暖地 東部・暖地の早期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ。 (但し, ヘラオモ ダカは温暖地東 部以北のみ.)	-3~+5 (ノビ エ1Lまで). ホタルイ・ヘラオ モダカ; 発生始 まで.	g/a 300	壤土~ 埴土 (2cm/ 日以下). [但し, 温暖地 西部は 砂壤土 ~埴土 (2cm /日以 下), 暖地の 早期は 砂壤土 ~埴土 (1cm /日以 下).]	1) 深水処理はさ ける. 2) クログワイ防 除はクログワイ にも有効な後期 処理剤と組合せ て使用する.
			寒冷地.	クログワイ.	田植後(+5). クログワイ; 発生 前~直後.	400		
			温暖地の普 通期.	クログワイ.	田植後(+5). クログワイ; 発生 始まで.	300		
	7) MC-79 粒	土壌処理	寒地, 寒冷 地, 温暖地 の早期・普 通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ。 (但し, ヘラオモ ダカは温暖地西 部の早期を除く.)	-3~+8 (ノビ エ1Lまで). [但し, 寒冷地は -7~+8 (ノビ エ1Lまで), 暖地の早期は, -3~+3.]	g/a 300~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/ 日以下). [但し, 温暖地 東部は 砂壤土 ~埴土 (極端 な漏水 田を除 く).]	1) 深水処理はさ ける.
			暖地の普通 期・早期.	一年生雑草・マツ バイ.	ホタルイ, ヘラオ モダカ; 発生始 まで.			
	8) MH-93 A粒	土壌処理	寒地, 寒冷 地.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ.	-3, +3~+8 (ノビエ1Lま で). [但し, 寒地は, +3~+8 (ノ ビエ1Lまで), 暖地は-3,+3 ~+7 (ノビエ 1Lまで).] ホタルイ・ヘラオ モダカ; 発生始 まで.	g/a 300~ 400 [但し, 暖地は 300の み.]	壤土~ 埴土 (2cm/ 日以下). [但し, 寒地・ 暖地は 砂壤土 ~埴土 (2cm /日以 下).]	1) 深水処理はさ ける.
			温暖地・暖 地の普通期.	一年生雑草・マツ バイ.				
	9) MS-256 粒	土壌処理	全域の早期・ 普通期.	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ウ リカワ・オモダカ.	-3~+10 (ノビ エ1.5Lまで). [但し, 暖地普通 期は-3~+7]	g/a 300~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/ 日以下).	1) 極端な浅植え はさける. 2) 泥炭質土壌で はウリカワに対

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 1 2 移植前後土壌処理（つづき）	9) MS-256 粒 (つづき)	土 壌 処 理		ミズガヤツリ・ヒ ルムシロ。 〔但し、ヘラオモ ダカは温暖地東 部以北のみ、オ モダカは温暖地 東部のみ、ミズ ガヤツリは寒地 を除く、ヒルム シロは温暖地西 部以西の早期を 除く。〕	〔ノビエ2Lま で〕。 ホタルイ・ヘラオ モダカ；発生始ま で。 〔但し、寒地は2 Lまで、温暖地 東部のヘラオモ ダカは2Lまで。〕 オモダカ・ミズガ ヤツリ；発生始ま で。 ウリカワ；発生始 まで。 〔但し、寒地は3 Lまで、暖地は 発生前～2L。〕 ヒルムシロ；発生 期。		〔但し、 寒冷地 は壌土 ～壌土 (2cm /日以下)、 暖地の 早期は 砂壌土 ～壌土 (1cm /日以下)。〕	する効果が低下 することがある。
	10) MSW-2 粒	土 壌 処 理	寒冷地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ミズガヤツリ。	－3～＋5（ノビ エ1Lまで）。 ホタルイ・ミズガ ヤツリ；発生始ま で。	g/a 300	壌土～ 壌土 (2cm/ 日以下)。	
			温暖地東部 の早期・普 通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ。	－3～＋5（ノビ エ1Lまで）。 ホタルイ；1Lまで。		砂壌土～ 壌土 (2cm/ 日以下)。	
	11) MT-124 粒	土 壌 処 理	寒冷地北部、 温暖地東部 と暖地の普 通期。	一年生雑草・マツ バイ。	－3～＋5（ノビ エ1Lまで）。	g/a 300～ 400 〔但し、 温暖地 東部は 300の み。〕	寒冷地： 壌土～壌 土(2cm /日以下)。 温暖地東 部；砂壌 土～壌土 (2cm/ 日以下)。 暖地；壌 土～壌土 (1.5 cm/日以下)。	1) 処理後の深水をさける。
	12) MT-225 粒	土 壌 処 理	暖地の普通 期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ。	－3～＋5（ノビ エ1Lまで）。 ホタルイ；発生始 まで。	g/a 300～ 400	壌土～ 壌土 (1.5cm /日以下)。	1) 処理後の深水をさける。
	13) SL-49 粒 〔Ⅱ-6- 3と共通〕	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ウ リカワ・ヒルムシ ロ。	＋3～＋7（ノビ エ1Lまで）。 ホタルイ・ヘラオ モダカ・ウリカワ ・ヒルムシロ；発	g/a 300～ 400	砂壌土～ 壌土 (2cm/ 日以下)。	1) 泥炭質土壌で はウリカワに対 する効果が低下 することがある。 2) 砂壌土で著し

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ Ⅱ 移植前後土壌処理（つづき）	13) SL-49 粒 〔Ⅱ-6-〕 〔3と共通〕 （つづき）				生始まで。		〔但し、 温暖地 西部の 早期は 壤土～ 埴土 （2cm ／日以下）〕	い高温条件の時 は、クロロシス の発生が著しい ので注意する。
			寒冷地以西 の早期・普 通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ウ リカワ・ミズガヤ ツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ホタルイ は暖地を除く、 ヘラオモダカは 寒冷地のみ、ミ ズガヤツリは温 暖地の早期と暖 地の普通期を除 く、ヒルムシロ は寒冷地と温暖 地東部・暖地の 普通期のみ。〕	－3～＋7（ノビ エ1Lまで）。 〔但し、暖地普通 期はノビエ1.5 Lまで。 ホタルイ・ヘラオ モダカ・ヒルムシ ロ；発生始まで。 〔但し、温暖地東 部のホタルイは 移植後処理のみ、 2Lまで。 ウリカワ；2Lま で。 ミズガヤツリ；発 生始まで。 〔但し、寒冷地は 1Lまで、温暖 地西部は2Lま で。〕			
	14) YH-411 粒	土 壌 処 理	寒地、寒冷 地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ミ ズガヤツリ。 〔但し、ミズガヤ ツリは寒冷地の み。〕	－3～＋5（ノビ エ1Lまで。 ホタルイ・ヘラオ セダカ・ミズガヤ ツリ；発生前～始。	g/a 300～ 400	壤土～ 埴土 （2cm／ 日以下）。 〔但し、 暖地は 壤土～ 埴土 （1cm ／日以下）〕	1) 深水処理はさ ける。
			温暖地以西 の普通期、 温暖地東部 の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ミズガヤツリ。 〔但し、ミズガヤ ツリは温暖地の 普通期のみ。〕				
	15) YH-411 ①粒	土 壌 処 理	温暖地西部 の普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ。	－3～＋5（ノビ エ1Lまで）。 ホタルイ；発生始 まで。	g/a 300～ 400	壤土～ 埴土 （2cm／ 日以下）。	1) 深水処理はさ ける。
	16) YH-3 粒 〔Ⅱ-6-〕 〔1と共通〕	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ。	－3～＋7（ノビ エ1Lまで。 ホタルイ・ヘラオ モダカ・ミズガヤ ツリ；発生前～2 L。 クログワイ；発生 始まで。	g/a 300～ 400 〔但し、 暖地の クログ ワイは 400の み。〕	砂壤土～ 埴土 （2cm／ 日以下）。 〔但し、 寒地、 寒冷地、 温暖地〕	1) 深水処理はさ ける。 2) クログワイ防 除はクログワイ にも有効な後期 処理剤と組み合 わせて使用する。
			寒冷地、温 暖地の早期 ・普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ミ ズガヤツリ・クロ				

区分	薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 1 2 移植前後 土壌処理 (つづき)	16) YH-3 粒 (II-6- 1と共通) (つづき)			グワイ。 (但し、ヘラオモ ダカは寒冷地の み、クログワイ は普通期のみ。)			西部の 早期は 壤土～ 埴土 (2cm /日以 下)。 暖地は 壤土～ 埴土 (1cm /日以 下)。	
			暖地の早期 ・普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ミズガヤツ リ・ <u>クログワイ</u> 。	-3～+5(ノビ エ1Lまで)。 ミズガヤツリ；発 生前～2L。 クログワイ；発生 始まで。			
II 1 3 移植後 土壌処理	1) BM-Ⓡ 粒	土 壌 処 理	寒冷地以西 の普通期、 温暖地東部 の早期。 (沖縄県の 一期作も 含む。)	一年生雑草・マツ バイ。	-4～+10(ノビ エ1.5Lまで)。	$\frac{g}{a}$ 300～ 400	砂壤土～ 埴土 (極端な 漏水田は 除く)。	
	2) OG-113 粒		<II-2-2 参照>					
	4) FS-356 粒	土 壌 処 理	寒地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ウ リカワ・ヒルムシ ロ。	+3～+7(ノビ エ1Lまで)。 ホタルイ・ヘラオ モダカ・ウリカワ ・ヒルムシロ；発 生始まで。	$\frac{g}{a}$ 300	埴土～ 埴土 (2cm/ 日以下)。	
			寒冷地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ウ リカワ・ミズガヤ ツリ・ヒルムシロ。	+3～+10(ノビ エ1.5Lまで)。 ホタルイ・ヘラオ モダカ・ウリカワ ・ミズガヤツリ； 2Lまで。 ヒルムシロ；発生 期。		埴壤土～ 埴土 (2cm/ 日以下)。	
	5) MM-3 粒	土 壌 処 理	全域の <u>早期</u> ・普通期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ウ リカワ・ミズガヤ ツリ。 (但し、ヘラオモ ダカは寒地と寒 冷地のみ、ウリ カワは温暖地西 部以西の早期を 除く、ミズガヤ ツリは寒地と暖 地の普通期を除 く。)	+3～+10(ノビ エ1.5Lまで)。 (但し、 <u>暖地の早 期は+3～+10 (ノビエ1Lま で。</u> ホタルイ・ヘラオ モダカ・ウリカワ ・ミズガヤツリ； 発生始～2L。	$\frac{g}{a}$ 300～ 400	埴土～ 埴土 (1.5cm /日以下)。 (但し、 暖地早 期は埴 土～埴 土(1 cm/日 以下)。	1) ブタクロール に準ずる。

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ 3 移植後土壌処理（つづき）	6) MT-224 粒	土壌処理	寒地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ.	+3～+7(ノビエ1Lまで). ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ; 発生始まで.	g/a 300～400	壤土～埴土 (1.5cm/日以下).	
	7) MTB- ⑧粒	土壌処理	寒地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ.	+2～ノビエ2Lまで. ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 発生始～2L.	g/a 300～400	砂壤土～埴土 (2cm/日以下).	
			寒冷地以西の普通期, 温暖地東部および暖地の早期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ. 〔但し, ヘラオモダカは寒冷地のみ.〕				
	8) MT-CG ①粒	土壌処理	寒地, 寒冷地, 温暖地東部の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ. 〔但し, ミズガヤツリは温暖地東部のみ, ウリカワは温暖地東部の早期を除く.〕	+3～+10(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ; 2Lまで. ミズガヤツリ; 発生始まで.	g/a 300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下). 〔但し, 寒冷地と温暖地西部は砂壤土(1cm/日以下)を含む.〕	
			温暖地西部以西の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ.	+3～+7(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ; 発生始まで. ウリカワ; 2Lまで.			
	9) NTN- 801粒	土壌処理	寒冷地.	ノビエ・カヤツリグサ・マツバイ.	+3～+10(ノビエ1.5Lまで).	g/a 300	壤土～埴土 (2cm/日以下).	
	11) S-471 粒 〔Ⅱ-6-1と共通〕	土壌処理	寒地, 寒冷地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・クログワイ. 〔但し, ミズガヤツリとクログワイは寒冷地のみ.〕	+3～+10(ノビエ1.5Lまで). ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・クログワイ; 発生始まで.	g/a 300	壤土～埴土 (2cm/日以下).	1) 深水処理はさける.

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ 3 移植後土壌処理（つづき）	11) S-471 粒 〔Ⅱ-6-1と共通〕 (つづき)		温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・クログワイ。 〔但し、ウリカワは早期のみ、クログワイは普通期のみ。〕	+3～+7(ノビエ1Lまで)。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・クログワイ；発生始まで。			
	14) X-567 粒 〔Ⅱ-6-1と共通〕	土壌処理	寒地、寒冷地。 温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ。 〔但し、ヘラオモダカは寒地のみ、クログワイは寒冷地のみ。〕 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・クログワイ。 〔但し、クログワイは普通期のみ。〕	+3～+7(ノビエ1Lまで)。 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・クログワイ；発生始まで。	g/a 300	壤土～埴土 (2cm/日以下)。	1) 深水処理はさける。
Ⅱ Ⅰ 4 茎葉兼土壌処理	1) HW-52・SM粒	茎葉・土壌処理	温暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ウリカワ。	+10～+15(ノビエ2.5Lまで)。 ウリカワ；3Lまで。	g/a 300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下)。	1) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る。 2) 低温時は、薬害発生の危険性があるので使用はさける。
	2) NTN-805粒	茎葉・土壌処理	寒冷地。	一年生雑草・マツバイ。	+7～+15(ノビエ2Lまで)。	g/a 300	埴壤土～埴土 (2cm/日以下)。	1) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る。
	3) NTN-806粒	茎葉・土壌処理	温暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヒルムシロ。	+15～+20(ノビエ3.5Lまで)。 ホタルイ；3Lまで。 ウリカワ；5Lまで。 ヒルムシロ；発生盛～増殖初期。	g/a 300	砂壤土～埴土 (1cm/日以下)。 〔但し、砂壤土は温暖地東部のみ。〕	1) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る。 2) 低温時は、薬害発生の危険性があるので使用はさける。

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ 4 茎葉兼土壌処理	5) YH-5 粒	茎葉・土壌処理	温暖地の普通期, 温暖地東部の早期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ.	+10～ノビエ3 L まで. 〔但し, 早期は, +15～ノビエ2.5 L まで. ホタルイ; 発生始～4 L.〕	g/a 300 ～ 400	壤土～ 埴土 (2 cm/日以下).	1) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る. 2) 低温時は, 薬害発生の危険性があるので使用はさける.
			暖地の早期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ.	+15～+20 (ノビエ2.5 L まで). ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 発生始～2 L.	300	埴埴土～ 埴土 (1 cm/日以下).	
Ⅱ Ⅰ 5 適用時期拡大	1) BS-㊸ 粒	茎葉・土壌処理	全域の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ.	田植前後土壌処理した場合, +15～+25 (ノビエ2 L まで). 〔但し, 寒地は300のみ.〕	g/a 300 ～ 400 〔但し, 寒地は300のみ.〕	砂埴土～ 埴土 (極端な漏水田は除く).	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤使用上の注意をまもる.
	2) BSM-㊸粒	茎葉・土壌処理	寒地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ.	田植前後土壌処理した場合, 寒地: +20～+30 (ノビエ2.5 L). 寒冷地, 温暖地東部: +20～+30 (ノビエ3 L). 温暖地西部以西: +20～+25 (ノビエ3 L). 〔但し, 寒冷地以北はイネ5 L 期以降. ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 発生始～4 L.〕	g/a 300 ～ 400 〔但し, 寒地は300のみ.〕	埴土～ 埴土 (2 cm/日以下). 砂埴土 (1 cm/日以下).	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤使用上の注意をまもる. 3) 低温時は, 薬害発生の危険性があるので使用はさける. 4) クログワイ防除はクログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用する.
			寒冷地, 温暖地東部の早期・普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・オモダカ・ミズガヤツリ・クログワイ. 〔但し, ヘラオモダカは寒冷地のみ.〕	〔但し, 温暖地西部以西のウリカワは発生始～5 L. オモダカ; 発生始～2 L. 〔暖地西部以西のオモダカは発生始～矢じり葉初期. クログワイ; 発生始～草丈5 cm.〕			
			温暖地西部以西の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・オモダカ・クログワイ. 〔但し, クログワイは温暖地西部のみ.〕				

区分	薬 剤 名	処理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ 5 適用時期拡大(つづき)	3)BAS-3510 (酸)水和 〔Ⅱ-6-4, Ⅱ-6-5 と共通〕	茎葉 処理 ・ 落水 散布	寒地.	一年生非イネ科雑 草・マツバイ・ホ タルイ・ヘラオモ ダカ・ウリカワ.	田植前後土壌処理 した場合, 一年生非イネ科雑 草; 生育期. ホタルイ; 発生盛 ～花茎抽出始期. ウリカワ・ミズガ ヤツリ・ヘラオモ ダカ・セリ; 発生 盛～増殖中期. オモダカ; 発生盛 ～矢じり葉初期. コウキヤガラ; +30 日前後. クログワイ; 草丈 10～30 cm. シズイ; 草丈20～ 30 cm(5～8L).	g/a 40～60	全土壌.	1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する. 2) 散布は水稻に なるべくかから ないようにする. 3) 処理後の灌水 は, 48～72時 間経過後に行な う. 4) 処理後2日以 内に降雨が予想 される場合は使 用をさしひかえ る. 5) クログワイ防 除はクログワイ に有効な前処理 剤との組み合わ せで使用する. また, 処理時期 が早いと効果が 変動する. 6) 寒地での散布 は高温時に行な う.
			寒冷地.	一年生非イネ科雑 草・マツバイ・ホ タルイ・ヘラオモ ダカ・ウリカワ・ オモダカ・ミズガ ヤツリ・クログワ イ・セリ・シズイ.				
			温暖地東部 の早期・普 通期.	一年生非イネ科雑 草・マツバイ・ホ タルイ・ヘラオモ ダカ・ウリカワ・ オモダカ・ミズガ ヤツリ・クログワ イ・コウキヤガラ. 〔但し, クログワ イは普通期のみ〕				
			温暖地西部 の普通期.	一年生非イネ科雑 草・マツバイ・ホ タルイ・ヘラオモ ダカ・ウリカワ・ オモダカ・ミズガ ヤツリ・クログワ イ・コウキヤガラ・ セリ.				
			暖地の早期・ 普通期.	一年生非イネ科雑 草・マツバイ・ホ タルイ・ヘラオモ ダカ・ウリカワ・ オモダカ・ミズガ ヤツリ・クログワ イ・コウキヤガラ. 〔但し, ヘラオモ ダカ・オモダカ・ クログワイは普 通期のみ.〕				
	4.5.6) BAS-3510 ①粒	茎は落 葉処理 散・布 ・浅水 もしく	寒地, 寒冷 地.	一年生非イネ科雑 草・マツバイ・ホ タル・ヘラオモダ カ・ミズガヤツリ. 〔但し, ミズガヤ ツリは寒冷地の み.〕	田植前後土壌処理 した場合, 寒地～温暖地東部 : +20～+30. 温暖地西部: +12 ～+25. 暖地早期: +30～	g/a 300～ 400	砂壤土～ 埴土 (1.5cm/ 日以下).	1) 前処理剤との 組み合わせで使 用する. 2) 処理後の灌水 は48～72時間 経過後に行なう.

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II 5 適用時期拡大(つづき)	4.5.6) BAS-3510 ①粒	茎葉処理・浅水もしくは落水散布	温暖地の普通期, 温暖地東部の早期.	一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ. 〔但し, ウリカワは温暖地東部のみ.〕	+ 40. 暖地普通期: + 7 〜 + 25. 一年生非イネ科; 生育期. ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ; 発生盛〜摘期. 〔但し, 暖地のウリカワは3〜8L, 温暖地西部以西のミズガヤツリは3〜7L.〕			
			暖地の早期・普通期.	一年生非イネ科雑草・マツバイ・ウリカワ・ミズガヤツリ. 〔但し, ミズガヤツリは早期のみ.〕				
	7) HOK - 0 5 M粒	茎葉・土壌処理	寒地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理した場合, + 20〜 + 25 (ノビエ 2.5 Lまで).	g/a 300 ~ 400	砂壤土〜植土 (2cm/日以下). 〔但し, 寒冷地は壤土〜植土 (2cm/日以下), 暖地普通期は砂壤土〜植土 (1cm/日以下).〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる. 3) 低温時は葉害発生の危険性があるので使用はさける.
			寒冷地	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ.	〔但し, 寒地はノビエ 2 Lまで, 寒冷地以北はイネ 5 L以降.〕 ホタルイ; 2 Lまで. ヘラオモダカ; 3 Lまで. ウリカワ; 4 Lまで. ミズガヤツリ; 5 Lまで. ヒルムシロ; 増殖初期.			
			温暖地以西の普通期, 温暖地西部以西の早期	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒロムシロ. 〔但し, ミズガヤツリは温暖地西部以西の早期のみ.〕				
	8) HOK - 0 5 P粒	茎葉・土壌処理	温暖地以北の普通期.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ. 〔但し, ヘラオモダカは寒地と寒冷地, ヒルムシロは温暖地のみ.〕	田植前後土壌処理した場合, + 20〜 + 25 (ノビエ 2 Lまで). 〔但し, 寒冷地以北はイネ 5 L期以降.〕 ホタルイ; 2 Lまで. ヘラオモダカ; 3 Lまで. ウリカワ; 4 Lまで. ヒルムシロ; 増殖初期.	g/a 300 ~ 400 〔但し, 寒地は 300 のみ.〕	壤土〜植土 (1.5cm/日以下). 〔但し, 寒地は砂壤土〜植土 (1.5cm/日以下).〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる. 3) 低温時は葉害発生の危険性があるので使用はさける.
	9) HW - 52 SM粒	茎土壌・処理	寒地.	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・	田植前後土壌処理した場合.	g/a 300 ~	砂壤土〜植土	1) 前処理剤との組み合わせで使用する.

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ ― 5 適用時期拡大(つづき)	9) <u>HW-52 SM粒</u> (つづき)	茎葉・土壌処理	寒冷地以西の普通期。	ヘラオモダカ・ウリカワ。 一年生雑草・マツバイ・ウリカワ。	+20～+25(ノビエ2.5Lまで)。 〔但し、寒地はノビエ2Lまで、寒冷地以北はイネ5L期以降。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ；2Lまで。 ウリカワ；5Lまで。 〔但し、寒地、寒冷地は4Lまで。〕	400 〔但し、寒地は300のみ。〕	(2cm/日以下)。 〔但し、寒地と温暖地は壌土～埴土(2cm/日以下)。 暖地は砂壌土～埴土(1cm/日以下)〕	用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は薬害発生の危険性があるので使用はさける。
	10) <u>KUH-812粒</u>	茎葉・土壌処理	寒地	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ。	田植前後土壌処理した場合、 +20～+25(ノビエ2Lまで、イネ5L期以降)。 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ；2Lまで。	g/a 300	壌土～埴土(2cm/日以下)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は薬害発生の危険性があるので使用はさける。
	11) <u>MTB-®粒</u>	茎葉・土壌処理	寒地、寒冷地。 温暖地の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ。 一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・オモダカ・ミズガヤツリ。 〔但し、オモダカとミズガヤツリは温暖地東部のみ。〕	田植前後土壌処理した場合、 +15～+20(ノビエ2Lまで)。 〔但し、寒地はノビエ1.5Lまで、温暖地の普通期は、+10～+20(ノビエ2Lまで)〕 ホタルイ・ヘラオモダカ・オモダカ；発生始～2L。 ウリカワ・ミズガヤツリ；発生始～3L。	g/a 300～ 400	壌土～埴土(2cm/日以下)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。
	12) <u>NTN-806粒</u>	茎葉・土壌処理	温暖地以北の普通期、温暖地東部の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ。 〔但し、ヘラオモダカは寒地と寒冷地のみ、ヒルムシロは寒冷地を除く。〕	田植前後土壌処理した場合、 +20～+25(ノビエ3.5Lまで)。 〔但し、寒地はノビエ2Lまで、寒冷地はノビエ2.5Lまで、寒冷地以北はイネ5L期以降。〕 ホタルイ；3Lまで(寒地、寒冷	g/a 300～ 400	砂壌土～埴土(2cm/日以下)。 〔但し、寒冷地は埴土～埴土(2cm/日以下)〕、 温暖地西部は壌土	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は薬害発生の危険性があるので使用はさける。

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ Ⅰ 5 適用時期拡大 (つづき)	12) NTN-806 粒 (つづき)	茎葉・土壌処理			地は2 Lまで。 ヘラオモダカ；3 Lまで(寒地は2 Lまで)。 ウリカワ；5 Lまで(寒地は2 Lまで、寒冷地は4 Lまで)。 ヒロムシロ；発生盛～増殖初期。		～埴土 (1 cm / 日以下)。	
	13) SB-77 粒	土壌処理	温暖地東部以北の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ。 (但し、ミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは温暖地東部を除く。)	田植前後土壌処理した場合、 + 10 ～ + 20 (ノビエ1.5 Lまで)。 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ；2 Lまで。	g/a 300	砂埴土～埴土 (2 cm / 日以下)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
	14) シメトリン・MCP B 粒 (Ⅱ-5-31, Ⅱ-6-8 と共通)	茎葉・土壌処理	寒地、寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ。 (但し、ウリカワは寒冷地南部のみ。)	田植前後土壌処理した場合、 + 20 ～ + 25 (ノビエ1.5 Lまで)。 (但し、寒地は+20 ～ +30、寒冷地以北はイネ5 L期以降。	g/a 300 ～ 400 (但し、寒地と暖地は300のみ。)	埴土～埴土 (2 cm / 日以下)。 砂埴土 (1 cm / 日以下)。 (但し、暖地早期は埴土～埴土(1 cm / 日以下)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は被害発生の危険性があるので使用はさける。
			温暖地以西の普通期、温暖地東部・暖地の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヒルムシロ。 (但し、ホタルイは温暖地西部のみ、ヒルムシロは温暖地の普通期のみ。)	ホタルイ；発生始～2 L。 ウリカワ；発生揃～5 L(暖地普通期は3～8 L)。 ヘラオモダカ；発生始～4 L。 ヒルムシロ；増殖初期。			
	15) SL-49 粒	土壌処理	寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ。	田植前後土壌処理した場合、 + 10 ～ + 15 (ノビエ1 Lまで)。 (但し、暖地は1.5 Lまで。	g/a 250 ～ 300	砂埴土～埴土 (2 cm / 日以下)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
			温暖地の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・オモダカ・ヒルムシロ。 (但し、オモダカは)	ヘラオモダカ；発生始まで。 ホタルイ・ミズガヤツリ・オモダカ；2 Lまで(寒冷地のホタルイ			

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5 適用時期拡大(つづき)	15) SL-49 粒 (つづき)	土壌処理		温暖地西部の普通期のみ。ヒルムシロは普通期のみ。	は発生始まで、ウリカワ；3Lまで。 ヒルムシロ；発生期まで。			
			暖地の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ。 (但し、ホタルイ・ミズガヤツリは早期のみ。)				
	16) TH-80 粒	茎葉・土壌処理	寒冷地以西の <u>早期</u> ・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ。 (但し、ホタルイは温暖地東部を除く。ヘラオモダカは寒冷地のみ。ヒルムシロは温暖地西部の普通期のみ。)	田植前後土壌処理した場合、 +15～+25(ノビエ2.5Lまで)。 (但し、寒冷地は、 +20～+25、イネ5L期以降。 ホタルイ；発生揃～2L。 ヘラオモダカ；発生揃～3L。 ウリカワ；発生揃～5L。 ヒルムシロ；発生盛～増殖初期。	g/a 300～ 400	砂壤土～ 埴土 (2cm/日以下)。 (但し、暖地早期は1cm/日以下)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は葉害発生の危険性があるので使用はさける。
	17) YH-5 粒	茎葉・土壌処理	寒地、寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ。 (但し、ミズガヤツリは寒冷地のみ。)	田植前後土壌処理した場合、 寒地：+20～+30(ノビエ2Lまで)。 寒冷地以西：+20～+25(ノビエ2.5Lまで)。 (但し、寒冷地、温暖地の普通期はノビエ3Lまで、寒冷地以北はイネ5L期以降。 ホタルイ；発生始～2L。 ウリカワ・ヘラオモダカ；発生始～4L。 ミズガヤツリ；発生始～3L。	g/a 300～ 400 (但し、 暖地は 300のみ)	砂壤土～ 埴土 (2cm/日以下)。 (但し、砂壤土は寒冷地のみ)。	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は葉害発生の危険性があるので使用はさける。
	19) KH-199 粒	茎葉・土壌処理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・	田植前後土壌処理した場合。	g/a 300～	砂壤土～ 埴土	1) 前処理剤との組み合わせで使

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 5 適用時期拡大（つづき）	19) KH-199 粒 (つづき)	茎葉・土壌処理		ヘラオモダカ。	寒地：+20～+30。 寒冷地・暖地：+20～+25。 温暖地：+15～+20。	400 〔但し、寒地と暖地は300のみ。〕	(2cm/日以下)。 〔但し、寒地、温暖地東部、暖地は砂壤土を除く。〕	用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る。 3) 低温時は、薬害発生の危険性があるので使用はさける。
			寒冷地以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ヒルムシロ・ウキクサ。 〔但し、ホタルイは温暖地西部の早期と暖地の普通期を除く。ヒルムシロは寒冷地および温暖地東部・暖地の早期を除く。ウキクサは温暖地西部のみ。〕	〔但し、ノビエ1.5Lまで、寒冷地以北はイネ5L期以降。〕 ホタルイ；発生始～5L。 ヘラオモダカ；発生始～4L。 ウリカワ；発生盛～5L。 ヒルムシロ；発生盛～増殖初期。			
	20) KH-44 粒	茎葉・土壌処理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ。	田植前後土壌処理した場合、+20～+25（ノビエ2Lまで）。 〔但し、寒冷地以北はイネ5L期以降。〕	g/a 300～400	壤土～埴土（2cm/日以下）。	1) 前後処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る。 3) 低温時は、薬害発生の危険性があるので使用はさける。
			寒冷地、温暖地東部の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ウリカワ・ヒルムシロ。	ホタルイ・ヘラオモダカ；2Lまで、ウリカワ；4Lまで。 ヒルムシロ；発生盛～増殖初期。			
	31) シメトリン・MCPB 粒		<Ⅱ-5-14と共通>					
	32) SW-751 粒	土壌処理	寒地、寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒルムシロ。 〔但し、ヒルムシロは寒冷地のみ。〕	田植前後土壌処理した場合、 寒地、寒冷地：+5～+20（ノビエ1Lまで）。 温暖地東部：+5～+20（ノビエ1.5Lまで）。 温暖地西部以西：+5～+15（ノビエ1.5Lまで）。 暖地：+5～+15（ノビエ2Lまで）。	g/a 300	砂壤土～埴土（2cm/日以下）。 〔但し、寒地は壤土～埴土（2cm/日以下）。〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 砂壤土で著しい高温条件の時は、クロロシスの発生が著しいので注意する。 3) 泥炭質土壌では、ウリカワに対する効果が低下することがある。
			温暖地の普通期、温暖地東部の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。	ホタルイ・ミズガヤツリ；発生始			
			暖地の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・				

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
II-5 (つづき) 適用時期拡大				ウリカワ。	で。 ウリカワ；発生前～2L（温暖地東部は4Lまで）。 ヘラオモダカ；発生始～2L。 ヒルムシロ；発生期。			
II-6-1 クログワイ対象	1) BAS-3510 粒	茎葉処理・浅水もしくは落水散布	寒地。	一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ。	田植前後土壌処理した場合， 一年生非イネ科；生育期。 ホタルイ；発生盛～花茎抽出始期。 ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；発生盛～増殖初期（温暖地以西は発生盛～増殖中期）。 オモダカ；発生盛～発生揃期（温暖地西部以西は発生盛～矢じり葉初期）。	g/a 300～400 〔但し，寒地は400～600。〕	砂壤土～埴土（1.5cm/日以下）。 〔但し，寒地は埴土～埴土（2cm/日以下）。〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 落水もしくは浅水で使用する。 3) 処理後の灌水は48～72時間経過後に行なう。 4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は，使用をさしひかえる。 5) 寒地浅水処理は，処理後3日間止水する。 6) クログワイ防除はクログワイにも有効な中期剤と組み合わせで使用する。
			寒冷地以西の普通期，温暖地東部・暖地の早期。	一年生非イネ科雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・オモダカ・ミズガヤツリ。 〔但し，オモダカは暖地早期を除く。ヘラオモダカは温暖地西部を除く。〕				
			温暖地東部の普通期。	クログワイ。	田植前後土壌処理した場合， +15～+30。 クログワイ；草丈15cm以下。	g/a 400	埴土～埴土（2cm/日以下）。	
	2) MTS-1 粒	土壌処理	全域の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・クログワイ。 〔但し，クログワイは寒地と温暖地西部以西の早期を除く。〕	-3～+7（ノビエ1Lまで）。 ホタルイ・クログワイ；発生始まで。	g/a 300～400	埴土～埴土（2cm/日以下）。	1) CNPに準ずる。 2) クログワイ防除はクログワイにも有効な後期剤と組み合わせで使用する。
	3) S-471 粒		<II-3-11 参照>					
	4) YH-3 粒		<II-2-16 参照>					
	5) X-567 粒		<II-3-14 参照>					

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ 6 2 オモダカ対象	1) S-28・SM粒	茎葉・土壌処理	寒地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ。	田植前後土壌処理した場合、 寒地：+20～+30（ノビエ2Lまで）。	g/a 300 〔但し、寒冷地は300（～400）〕	壤土～ 埴土 （2cm/日以下）。 〔但し、寒冷地以西は砂壤土（1cm/日以下）を含む。〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。 3) 低温時は、葉害発生の危険性があるので使用はさける。
			寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・オモダカ・ヒルムシロ。	寒冷地：+20～+30（ノビエ2.5Lまで）。 〔但し、寒冷地以北はイネ5L期以降〕			
			温暖地東部の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ヒメホタルイ・ヒルムシロ。 〔但し、ヒルムシロは普通期のみ。〕	温暖地以西：+20～+25（ノビエ2.5Lまで） ホタルイ；発生始～2L。 ヘラオモダカ・ウリカワ；発生始～4L。			
			温暖地西部以西の早期・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ。 〔但し、ホタルイは暖地の早期のみ。〕	ヒメホタルイ；草丈5～10cm。 ヒルムシロ；発生盛～増殖初期。 オモダカ；3Lまで。			
Ⅱ 6 3 ヒルムシロ対象	5) SL-49粒		<Ⅱ-2-13参照>					
Ⅱ 6 4 セリ対象	1) BAS-3510 水和		<Ⅱ-5-3参照>					
Ⅱ 6 5 シズイ対象	1) B-3015 S・BAS粒	茎葉処理	寒冷地。	シズイ。	シズイ；草丈20～25cm（5～7L）。	g/a 300～ 400	壤土～ 埴土 （2cm/日以下）。	
	3) MCP・BAS粒	茎葉処理	寒冷地。	シズイ。	+40～+45。 シズイ；草丈30～40cm（7～8L）。	g/a 300～ 400	砂壤土～ 埴土 （1.5cm/日以下）。	1) 浅水処理で使用する。
	4) TH-63粒	茎葉処理	寒冷地。	シズイ。	シズイ；草丈20～25cm（5～7L）。	g/a 300～ 400	砂壤土～ 埴土 （2cm/日以下）。	
	5) BAS-3510 水和	茎葉処理	寒冷地。	シズイ。	シズイ；草丈20～30cm（5～8L）。	g/a 40～60	全土壌。	1) 落水処理で使用する。

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅱ シズイ 6 対 5 象	6) SMX粒	茎葉処理	寒冷地.	シズイ.	シズイ; 草丈20~25cm(5~7L).	g/a 300	砂壤土~ 埴土 (2cm/ 日以下).	
Ⅲ 1 湛 水 直 播	1) HW-52 粒	土壌処理	温暖地以西.	ノビエ.	+3~ノビエ2.5Lまで. (但し, 温暖地東部)は2Lまで.	g/a 300~ 400 〔但し, 温暖地 東部は 300の み.〕	埴土~ 埴土 (1.5cm/ 日).	1) 広葉雑草に有効な除草剤との組み合わせで使用する.
	3) SL-49 粒	土壌処理	寒冷地. 温暖地以西.	一年生雑草・マツパイ・ホタルイ. 一年生雑草・マツパイ・ホタルイ・ウリカワ. (但し, ホタルイは)温暖地東部を除く.	-3~+7(ノビエ発生始まで). ホタルイ; 発生前. +0~+3. (但し, 温暖地西部)は+0~+7(ノビエ1Lまで). ホタルイ; 発生始まで. ウリカワ; 2Lまで.	g/a 300~ 400 g/a 300	埴土~ 埴土 (2cm/ 日).	
Ⅳ 畦 畔 雑 草	3) MW-801 液	茎葉処理	全域.	全草種.	雑草生育初期~中期; 草丈10~30cm.	ml/a 50~ 100	全土壌.	1) ノリ面散布はさける. 2) 流入・飛散による水稻への被害に注意する.
	4) NHS- 60 水溶	茎葉処理	寒冷地, 温暖地.	全草種.	雑草生育期; 草丈25~30cm.	g/a 1000~ 1500	埴土~ 埴壤土.	1) ノリ面散布はさける. 2) 流入・飛散による水稻への被害に注意する.
V 耕 起 前	1) NW-801 液	茎葉処理	寒冷地以西.	一年生雑草・キシウスズメノヒエ. (但し, キシュウスズメノヒエは暖地のみ.)	一年生雑草; 耕起前30~15日. キシウスズメノヒエ 耕起前30~25日.	ml/a 一年生雑草; 50~100. キシウスズメノヒエ; 100.	砂壤土~ 埴土	1) 周辺の作物に飛散しないように注意する.
Ⅳ 休 耕 田	1) グリホサート液	茎葉処理	寒冷地以西.	一年生雑草・イネ科多年生雑草.	雑草生育初期.	ml/g 一年生雑草; 25~	全土壌.	1) 稀釈水量はできるだけ少なく, 茎葉に付着する

区分	薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
VI 休耕田(つづき)	1) グリホサート液 (つづき)	茎葉処理				50. 多年生雑草; 75~100.		ように散布する。 2) 周辺の作物に飛散しないように注意する。
VII 体系是正	1) CG-S W粒	土 壌 処 理	全域の普通 期・温暖地 東部の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ウ リカワ・ミズガヤ ツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ヒルムシロ は寒地と暖地のみ。〕	-3, +1~ノビ エ2Lまで。 〔但し、寒地は-3, +1~+10(ノビ エ1.5Lまで)。〕 ホタルイ・ミズガ ヤツリ; 2Lまで。 ウリカワ・ヘラオ モダカ; 3Lまで。 ヒルムシロ; 発生 期まで。	g/a 300~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/ 日以内)。	1) 泥炭質土壌で は、ウリカワに 対する効果が低 下することがあ る。 2) 砂壤土で、著 しい高温条件の 時はクロロシス の発生が著しい ので注意する。
			暖地の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ウリカワ。	+1~+7(ノビ エ1Lまで)。	g/a 300		
	2) CG-S W粒	土 壌 処 理	寒冷地。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ウ リカワ・ミズガヤ ツリ。	+1~+10(ノビ エ1.5Lまで)。 ホタルイ・ヘラオ モダカ・ミズガヤ ツリ; 発生始まで。 ウリカワ; 2Lま で。	g/a 300~ 400	砂壤土~ 埴土 (2cm/ 日以下)。	1) CG-SW粒 剤に準ずる。
	3) MM-3 粒	土 壌 処 理	全域の普通 期, 温暖地 東部の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ウ リカワ・ミズガヤ ツリ。 〔但し、ヘラオモダ カは寒冷地以北の み。ミズガヤツリ は寒地を除く。〕	+3~+10(ノビ エ1.5Lまで)。 ホタルイ・ヘラオ モダカ・ウリカワ・ ミズガヤツリ; 発 生始~2Lまで。	g/a 300~ 400	埴土~ 埴土 (1.5cm/ 日以下)。	1) ブタクロール 粒剤に準ずる。
	4) MS- 358粒	土 壌 処 理	全域の普通 期, 温暖地 東部の早期。	一年生雑草・マツ バイ・ホタルイ・ ヘラオモダカ・ウ リカワ・ミズガヤ ツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ヒルムシロ は寒地と暖地のみ。〕	寒地, 寒冷地: +1~+10(ノビ エ1.5Lまで)。 温暖地東部: +3 ~+13(ノビエ 2Lまで)。 温暖地西部以西: +1~+10(ノ ビエ2Lまで)。 ホタルイ・ヘラオ モダカ・ミズガヤ ツリ; 2Lまで。	g/a 300~ 400 〔但し、 400は 寒地の み。〕	砂壤土~ 埴土 (2cm/ 日以下)。 〔但し、寒 地の400 g/a処理 は砂壤土 を除く。〕	1) ブタクロール 粒剤に準ずる。 2) 泥炭質土壌で はウリカワに対 する効果が低下 することがある。 3) 砂壤土で、著 しい高温条件の 時はクロロシス の発生が著しい ので注意する。

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
Ⅶ 体系是正（つづき）	4) MS - 358 粒 (つづき)	土壌処理			ウリカワ；3 L まで。 ヒルムシロ；発生期まで。			
			暖地の早期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ウリカワ。	+1～+7 (ノビエ 1 L まで)。			
	5) MS - 356 粒	土壌処理	寒地・寒冷地北部。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ミズガヤツリは寒冷地北部のみ。〕	+1～+10 (ノビエ 1.5 L まで)。 ホタルイ・ヘラオモダカ；2 L まで (寒冷地は発生始まで)。 ウリカワ；3 L まで。 ヒルムシロ；発生期。	g/a 300～400	砂壤土～ 埴土 (2 cm / 日以下)。 〔但し、寒地の 400 g/a 処理と寒冷地北部は埴土～埴土。〕	1) ブタクロールおよびピラゾレート粒剤に準ずる。
	6) MS - 256 粒	土壌処理	寒冷地以西の早期、普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・オモダカ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、オモダカは温暖地東部のみ、ヘラオモダカは寒冷地と温暖地東部のみ、ヒルムシロは温暖地西部以西の早期を除く。〕	+1～+10 (ノビエ 1.5 L まで)。 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・オモダカ・ミズガヤツリ；発生始まで (温暖地東部のヘラオモダカは 2 L まで、暖地のウリカワは発生前～2 L)。 ヒルムシロ；発生期。	g/a 300～400	砂壤土～ 埴土 (2 cm / 日以下)。 〔但し、寒冷地は砂壤土を除く。暖地の早期は砂壤土～埴土 (1 cm / 以下)〕	1) ブタクロールおよびピラゾレート粒剤に準ずる。
	7) MT - C G 粒	土壌処理	全域の普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ。 〔但し、ミズガヤツリは温暖地以西のみ。〕	+3～+10 (ノビエ 1.5 L まで)。 〔但し、温暖地西部以西はノビエ 2 L まで。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ；発生始まで。	g/a 300～400	埴土～ 埴土 (2 cm / 日以下)。	
	8) NTN - 804 粒	土壌処理	寒冷地。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ。	+7～+15 (ノビエ 2 L まで)。 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ；3 L まで。	g/a 300	砂壤土～ 埴土 (2 cm / 日以下)。	

区分	薬剤名	処理法	適用地域	適用草種	処理時期	使用量	適用土壌	使用上の注意
VII 体系是正 (つづき)	9) SB-77 粒	土壌処理	全域の普通期、温暖地の <u>早期</u> 。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ホタルイとミズガヤツリは寒地を除く。ヘラオモダカは寒地以北のみ、ヒルムシロは寒地と温暖地西部以西の普通期のみ。〕	+3～+10 (ノビエ2Lまで)。 〔但し、寒地はノビエ1.5Lまで、温暖地西部の早期は+3～+12。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ；2Lまで。 ヒルムシロ；発生期まで。	g/a 300～ 400 〔但し、400は寒地と温暖地西部の早期のみ。〕	砂壤土～ 埴土 (2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部の早期は埴土～埴土(1cm/日以下)〕	1) 泥炭質土壌ではウリカワに対する効果が低下することがある。 2) 砂壤土で、著しい高温条件の時はクロロシスの発生が著しいので注意する。
	10) SL-493 粒	土壌処理	全域の <u>早期</u> ・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ヘラオモダカは寒地以北のみ、ミズガヤツリは温暖地以西のみ、ヒルムシロは寒地と温暖地西部以西の普通期のみ。〕	+1～+10 (ノビエ2Lまで)。 〔但し、寒地、寒冷地、暖地の早期はノビエ1.5Lまで。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ；2Lまで (暖地早期のホタルイは1Lまで)。 ウリカワ；3Lまで。 ヒルムシロ；発生期。	g/a 300～ 400 〔但し、砂壤土は300のみ。〕	砂壤土～ 埴土 (2cm/日以下)。 〔但し、暖地の早期は1cm/日以下、温暖地西部の早期は埴土～埴土(1cm/日以下)〕	
	11) SL-494 粒	茎葉・土壌処理	全域の <u>早期</u> ・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヒルムシロ。 〔但し、ヘラオモダカは寒地以北のみ、ミズガヤツリは寒地を除く、ヒルムシロは寒地と温暖地西部以西の普通期のみ。〕	+7+12 (ノビエ2.5Lまで)。 〔但し、寒地はノビエ1.5Lまで、寒冷地と暖地の早期はノビエ2Lまで。〕 ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ；2Lまで (暖地早期のホタルイとミズガヤツリは発生始まで)。 ウリカワ；4Lまで。 ヒルムシロ；発生期。	g/a 300～ 400 〔但し、砂壤土は300のみ。〕	砂壤土～ 埴土 (2cm/日以下)。 〔但し、温暖地西部の早期は埴土～埴土(1cm/日以下)、暖地の早期は埴土～埴土(1cm/日以下)〕	1) ミズガヤツリに対し、遅い処理では400 g/a 散布する。
	13) TH-63 粒	茎葉処理・ 土壌	全域の <u>早期</u> ・普通期。	一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ヘラオモダカ・ウ	寒地：+7～ノビエ2Lまで。 寒冷地：+8～ノ	g/a 300	埴土～ 埴土 (2cm/	1) シメトリン混合剤の使用上の注意をまもる。

区分	薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使用上の注意
VII 体系是正(つづき)	13) TH-63 粒 (つづき)	茎葉・土壌処理		リカワ・ミズガヤツリ。 (但し、ヘラオモダカは寒冷地以北のみ、ミズガヤツリは寒地を除く。)	ビエ2.5Lまで、 温暖地以西：+8 ～ノビエ3Lまで。 ホタルイ；発生始 ～5L。 ヘラオモダカ；発 生盛～4L。 ウリカワ；発生盛 ～5L。 ミズガヤツリ；発 生盛～6L。		日以下。	2) 多年生雑草を対象とする場合には浅水処理が望ましい。

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農林水産省農蚕園芸局植物防疫課

昭和57年6月1日～58年2月28日

種類名	商品名	有効成分の種類 および含有率	剤 型	適用場所	作 物 名	適 用 雑草名	使用時期	10a 当り 使 用 量	使用方法	登録会社
カルブチ レート粒 剤	タンデッ クス粒剤	3-(3,3-ジ メチルウレイド) フェニルター シャリブチルカ ルバマート ……………4.0%	粒 剤	造 林 地 (下蒔り)	ひ の き	落葉雑か ん木1年 生雑草お よび多年 生雑草。	新葉展開 前～展開 初期、雑 かん木 (3月～ 4月)	12 kg	全面土壌 散布	日本チバガ イギー(株)、 昭和電工(株)。
						ササ	5～7月			
メトラク ロール・ CAT水和 剤	ゲザトッ プD水和 剤	2-クロロ-2'- エチル-N- (2-メトキシ -1-メチル) -6'-メチルア セトアニリド ……………30.0% 2-クロロ-4, 6-ビス(エチ ルアミノ)-S -トリアジン ……………15.0%	水 和 剤		日 本 芝 〔こうら いしば〕	畑地一年 生雑草	雑草発生 前。	400～ 600 g 〔200～ 300 l 使用〕	全面土壌 散布。	日本チバガ イギー(株)、 日本農業(株)。
ノルフル ラゾン粒 剤	ゾリアル 粒剤	4-クロロ-5 -メチルアミノ -2-〔3- (トリフルオロ	粒 剤		桑	畑地一年 生雑草	雑草発生 前	6～8 kg	全面土壌 散布	日本曹達(株)、 サンド薬品 (株)。